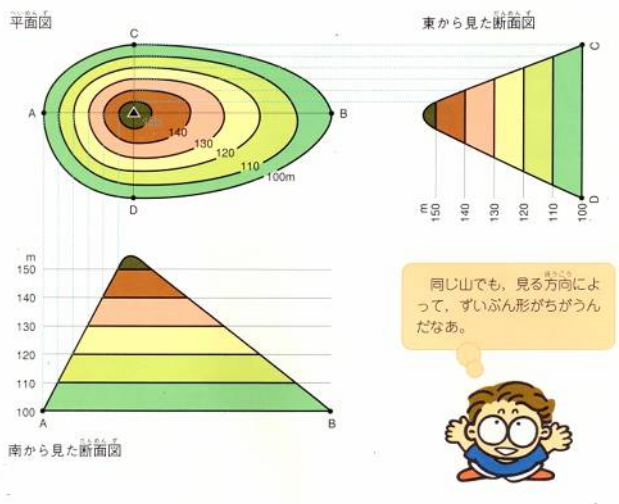
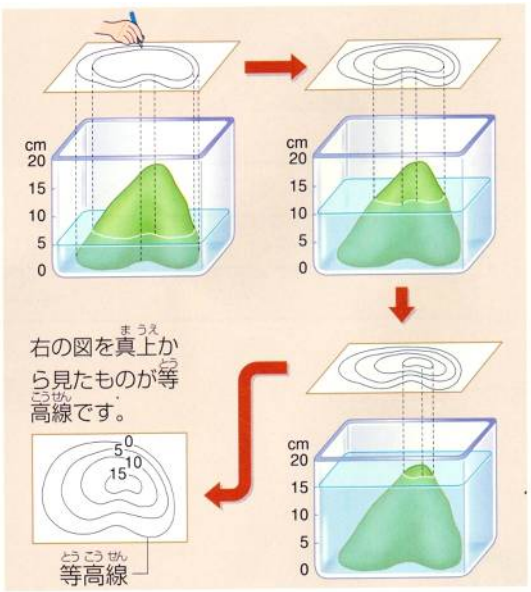
平面で立体を表すために工夫されたのが等高線です。海面から同じ高さのところを結んでつくります。その高さは、(1)湾の海面からの高さを基準にして表しています。この線の幅でなだらかな斜面なのか、急な斜面になっているのかが判断できます。



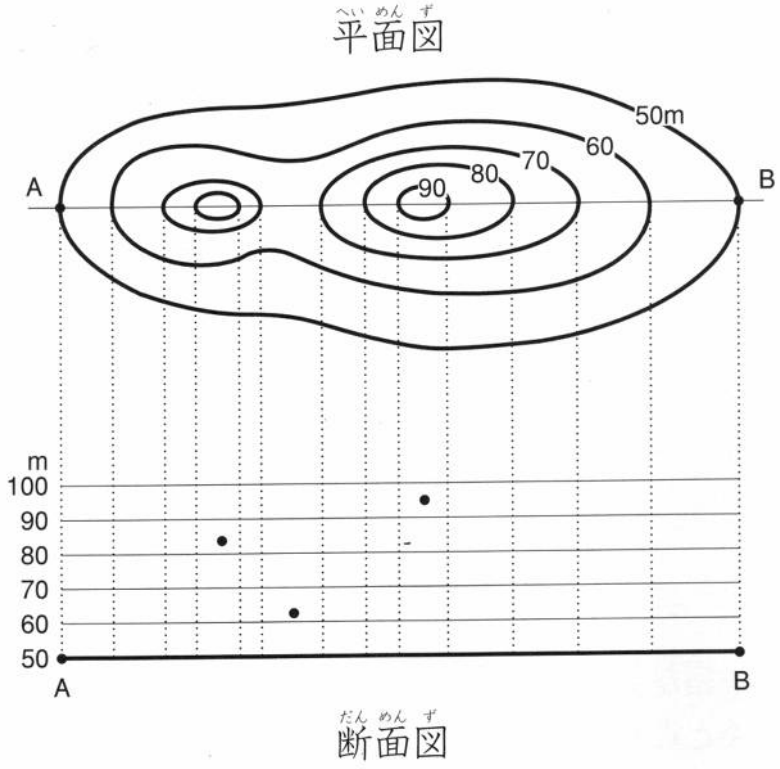


等高線の書き方

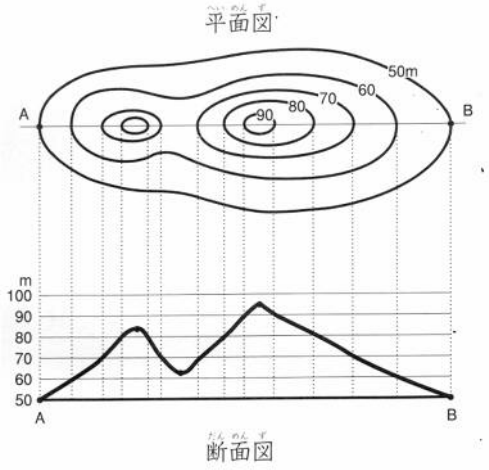
等高線の幅が広い斜面は(2…急かなだらか)になり、せまくなるほど斜面は(3…急かなだらかで)になるのです。

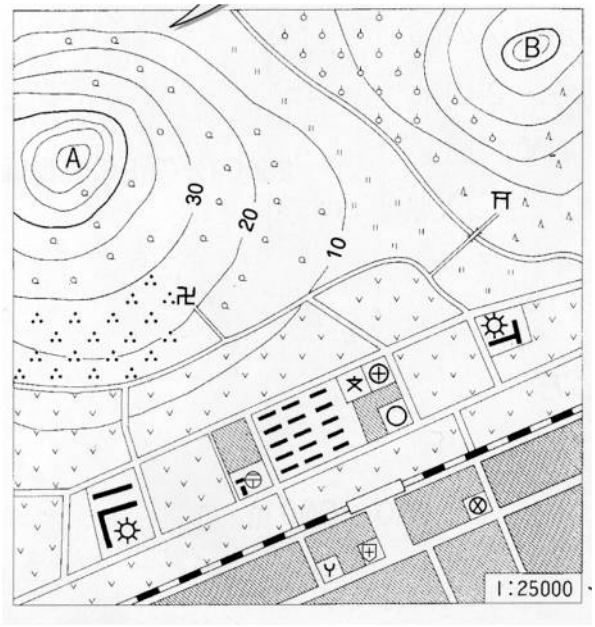
平面図と断面図

土地を真上から見た図を平面図といい、土地の切り口を示した図は断面図といいます。
断面図は、見る方向によってちがった形になります。つまり、平面図が地図で、私たちが目にしている山の形が断面図です。下の平面図をもとに、断面図を完成させなさい。



前ページの答え





地図を見て、次の問いに答えなさい。

方位…郵便局から見て、神社は(4)の方角に見えます。

また、Ｂの山の頂上から見て、消防署に近い方の工場は(5)の方角に見えます。

等高線…等高線は、ふつう 25000 分の１の地図では(6)ｍごとに、50000 分の１の地図では(7)ｍごとに引かれています。

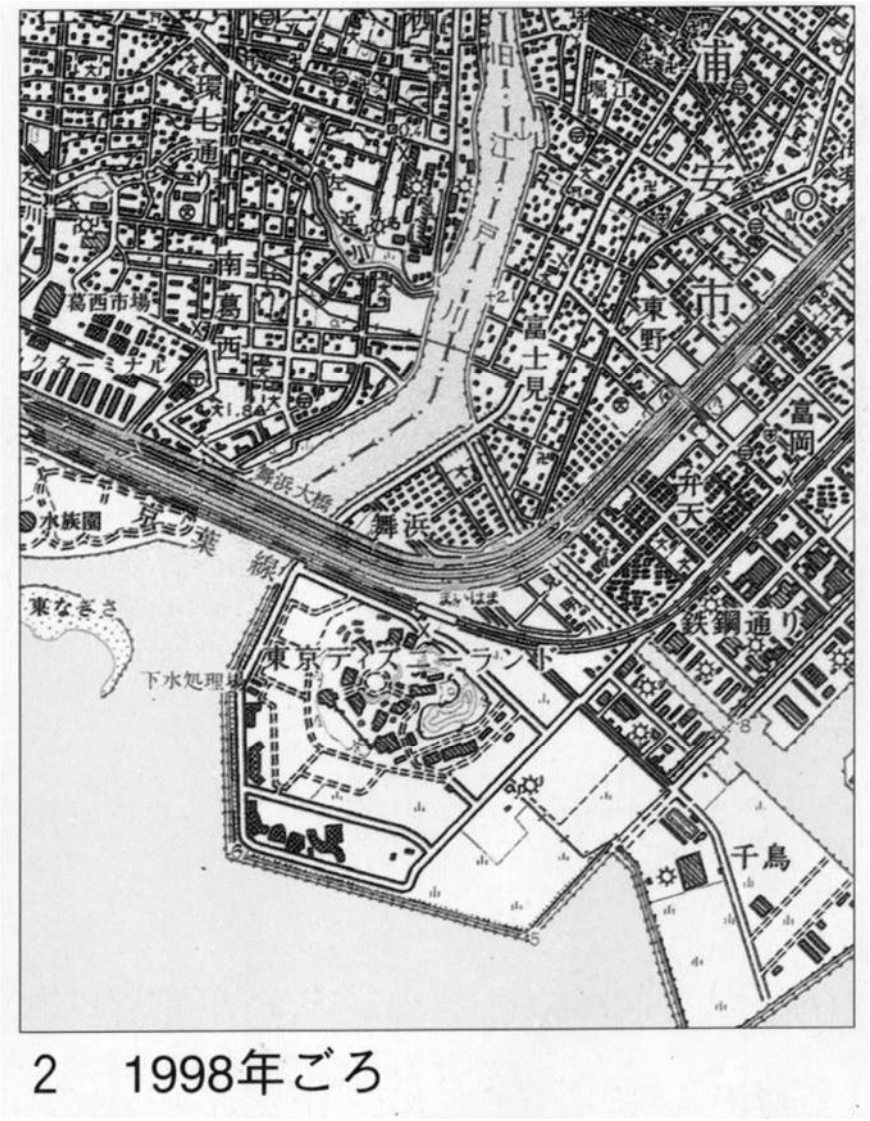
このことから、Ａ山の頂上は(8)ｍよりも高く、(9)ｍよりも低いことが分かります。また、Ｂ山の頂上は(10)ｍよりも高く、(11)ｍよりも低くなっています。

地図記号…Ａ山は(12)の森になっていて、その南には(13)が広がっています。また、Ｂ山の西には(14)が広がり、東は(15)の森になっています。

縮尺…郵便局から町役場までの距離は地図の上で２㎝ですから、実際は(16)ｍになります。

地図をくらべて考えよう

1　1965年ごろ



2　1998年ごろ

江戸川をはさんで東が(17)市です。昔はたくさんあった(18)が姿を消し、現在は町や工場が広がっています。舞浜町には有名な(19)があるのが見えます。海岸線のようすが昔とちがうのは、たくさんの土砂を運び入れた(20)によって土地が広げられたためです。海岸線や道路が昔と比べて直線になっていることから、新しくつくられた街であることが分かります。江戸川も堤防を築いて川幅を広くして水害に備えています。